

# いい川フォトスポット

---

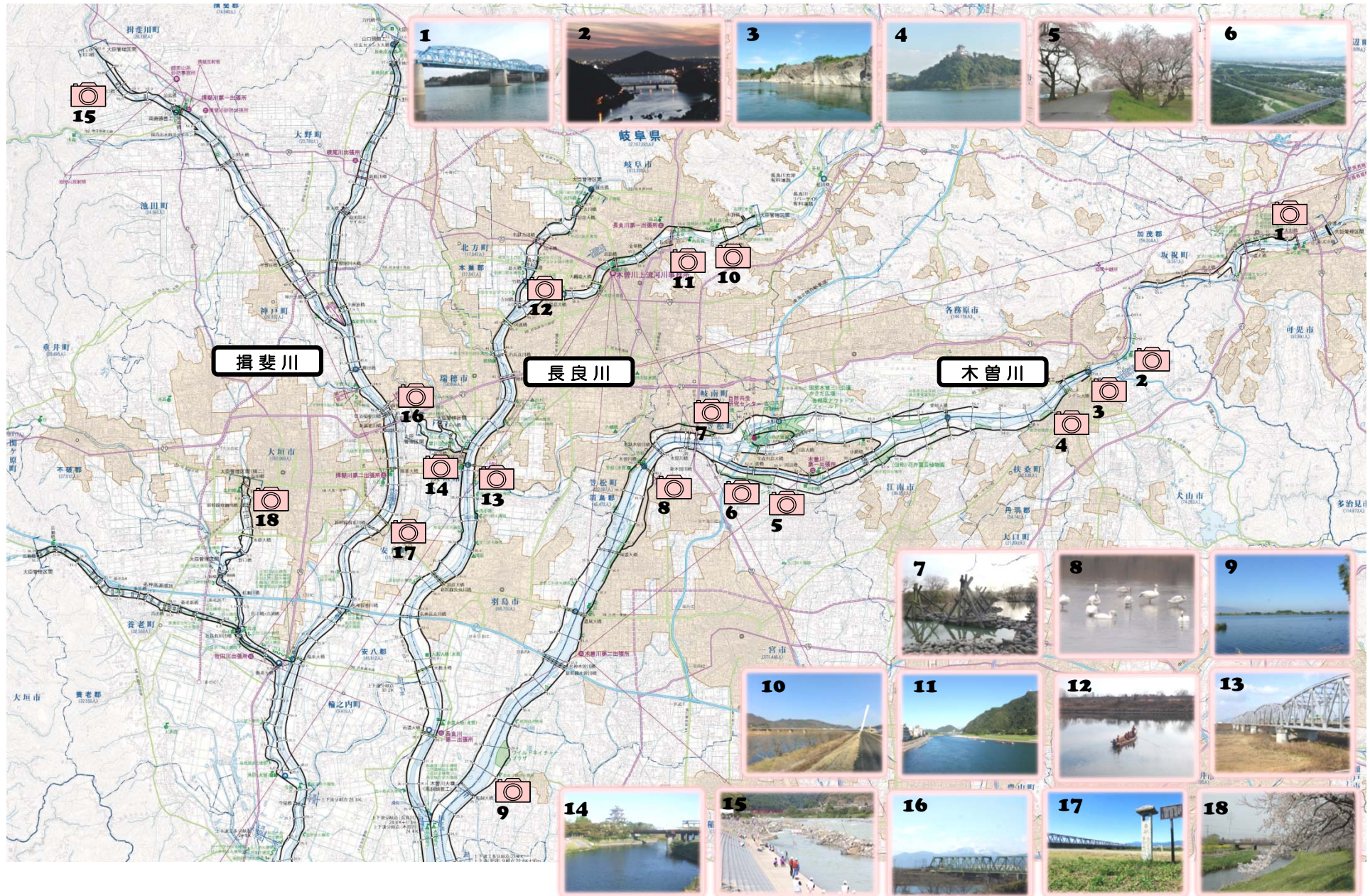
事務所管内には、四季折々の美しく魅力的な風景がたくさんあります。その中から、オススメの撮影スポットを紹介します。

---

平成25年1月23日

国土交通省 中部地方整備局  
木曾川上流河川事務所 調査課

# いい川フォトスポット MAP



# 1. 木曽川の太田橋

土木学会選奨「土木遺産」



【撮影日時】平成25年1月16日

【撮影場所】美濃加茂市御門町～可児市今渡

中山道は昔、『太田の渡し』で木曽川を渡っていました。『木曽のかけはし 太田の渡し 碓氷峠がなくばよい』とうたわれていたように、この渡しは中山道の三大難所の一つでした。昭和2年、渡しのすぐ上流部に太田橋が完成し、しばらく後に『太田の渡し』は役割を終えました。

この橋はワーレントラス橋であり、岐阜県初の近代的道路鋼橋として土木学会選奨「土木遺産」として登録されています。

## 2. 木曾川と夕暮れ富士



【撮影日時】 平成24年12月16日

【撮影場所】 愛知県犬山市

『夕暮れ富士』と呼ばれる伊木山<sup>いぎ</sup>は、各務原市南東部の木曾川右岸にある小さな山です。山頂付近には戦国時代の山城である伊木山城の址があり、第二次大戦中には天守台を改変して、敵機を攻撃する設備が作られました。

夕暮れ時には夕焼けを背景とした伊木山、ライトアップされた犬山城や遠くに見えるツインアーチ138と共に、この地域の代表的なスポットです。

# 3. 日本ライン



【撮影日時】平成24年8月1日

【撮影場所】愛知県犬山市大字犬山

1913年、地理学者の志賀重昂が木曾川の美しい景観が、ドイツのライン川に似ていることから「日本ライン」と名付けたと言われています。川沿いの谷壁と山地は、中世代に海の底で堆積してできた「チャート」と呼ばれるものです。

毎年3月10日～11月30日は、美濃加茂市の美濃太田乗船場から犬山市の犬山橋下船場まで全長13kmにわたって船下りができ、四季折々の景観を楽しむことができます。

## 4. 国宝 犬山城



【撮影日時】平成24年10月22日

【撮影場所】岐阜県各務原市鶉沼小伊木町

国宝犬山城は、1537年の室町時代に織田信長の叔父である織田信康によって木之下城より城郭を移して築いたといわれ、天守は現存する日本最古の様式です。

また、340余年の伝統を有する「木曾川鶉飼い」は、毎年6月1日～10月15日まで開催され、夜空に浮かび上がる犬山城を背景に鶉匠の手縄さばきを間近に見ることができます。

木曾川のほとりの小高い山の上に建てられた天守閣からの眺めはまさに絶景です。春になると桜も咲き、季節毎に様々な眺めが楽しめます。

## 5. 名勝及び天然記念物 木曾川堤（サクラ）



【撮影日時】平成22年3月21日（一宮市博物館提供）

【撮影場所】愛知県一宮市光明寺

木曾川堤（サクラ）は、一宮市北方町から江南市草井町までの約9kmにわたる木曾川の堤防上に植栽されたサクラとその堤防のことで、桜の名所として有名です。

この堤防にサクラが植栽されたのは明治18年（1885年）のことで、前年の洪水により被災を受けた堤防補修に際し、地元有志がサクラの苗木を寄付し、堤防の両側に植樹したとされています。

その後、サクラ並木としての景観が整えられ、昭和2年（1927年）に国の名勝および天然記念物に指定されました。

## 6. ツインアーチ138から見る木曽三川



【撮影日時】平成24年8月29日 16時頃

【撮影場所】国営木曽三川公園 ツインアーチ138

木曽川の雄大な流れを中心に遠くは日本アルプスの峰々、そして伊勢湾までを一望する眺めが楽しめ、多くの人々が来場しています。

また、夜間開園時には、岐阜県と愛知県の夜景が楽しめます。



# 7. 木曾川河跡湖(トンボ池)の<sup>ひじりうし</sup>聖牛

土木学会選奨「土木遺産」



【撮影日時】 平成25年1月16日

【撮影場所】 岐阜県羽島郡笠松町

<sup>ひじりうし</sup>

『聖牛』とは、川の流れを変化させるための水制の一種で、治水に力を入れた武田信玄の時代に生まれ、江戸時代に発達しました。トンボ池の聖牛は、大正改修13年から施工されました。

太い丸太を三角錐の形に組んで川に設置されたもので、増水時に流されてきた土砂を岸側に堆積させることで、川岸を守る働きをします。

治水技術を理解する上で非常に貴重な施設であることから、土木学会推奨「土木遺産」として登録されています。

## 8. 木曽川で越冬するコハクチョウ



【撮影日時】 平成25年1月9日

【撮影場所】 岐阜県羽島郡笠松町

コハクチョウはカモ科の冬鳥で、秋から冬にかけてシベリア方面より飛来し、日本で越冬する白鳥です。ひと冬を過ごした3月上旬には北へ帰ります。河川、湖沼、内湾などに生息します。

確認可能な今年の飛来数は、約70羽ぐらいですが、多い時は数百羽が飛来するようです。この場所にはたくさんの写真愛好家が集まるそうです。

## 9. 木曾川と伊吹山



【撮影日時】 平成24年10月22日

【撮影場所】 国営木曾三川公園 サリオパーク  
(愛知県稲沢市祖父江町)

冬になると木曾川の背後に雪化粧した雄大で美しい伊吹山が見えます。  
冬季には伊吹山の方角から吹く「伊吹おろし」の冷たい季節風が吹き込み、澄んだ空気により伊吹山をより一層鮮やかに眺めることができます。

# 10. 鶺鴒大橋



【撮影日時】 平成25年1月16日

【撮影場所】 岐阜県岐阜市雄総～西日野

長良川に架かる長良橋と千鳥橋の渋滞解消として、平成15年に鶺鴒大橋が架けられました。鶺鴒大橋と長良橋との間で鶺鴒いが行われており、この橋の外観は、主塔を鶺鴒匠、ケーブルを手綱、橋桁を鶺鴒船に見立てた造りになっています。

車のライトや橋の照明が鶺鴒いの妨げとならないよう、車道の脇には高めのコンクリートが続いているなどの工夫が施されています。

この橋の歩道からは川が見渡せるため、鶺鴒い見物を楽しむことができます。

# 1 1 . 長良川の鵜飼いと金華山



【撮影日時】平成21年8月14日

【撮影場所】長良川 長良橋より

(岐阜県岐阜市長良福光)

毎年5月11日～10月15日に開催される長良川の鵜飼いは約1300年の歴史があり、岐阜の夏の風物詩として受け継がれてきました。長良川の鵜飼用具一式は「国の重要有形民俗文化財」、長良川鵜飼漁は岐阜県重要無形民俗文化財に指定されています。また、山頂に岐阜城を有する金華山は、岐阜城跡として国史跡に指定されています。

長良橋から上流へ約1.3kmの長良川沿いには、これら岐阜市を代表する景観を眺めながら散策できるプロムナード（遊歩道）も整備されています。

## おべに 12. 小紅の渡し



【撮影日時】平成25年1月11日

【撮影場所】岐阜県岐阜市一日市場

長良川を渡る渡し舟で、岐阜市ひといちば一日市場と鏡島かがしまを結んでいます。かつて岐阜市内にはいくつもの渡しがありましたが、現在は『小紅の渡し』だけが残っています。

『小紅の渡し』は、県道の一部となっていて無料で乗船することができます。  
鏡島かがしま弘法こうぼうの命日である毎月21日は、対岸の乙津寺おっしんじへの参詣客が小紅の渡しを利用するため賑わいます。

舟からは美しい岐阜城を眺めることができ、春には菜の花が咲き、冬には野鳥が飛来するととても風情のある場所です。

# 13. 長良大橋

土木学会選奨「土木遺産」



【撮影日時】平成25年1月15日

【撮影場所】岐阜市茶屋新田

長良大橋は、岐阜市と大垣市墨俣地区を結んでいます。

昭和8年の竣工当初の計画は、道路・鉄道併用橋でした。上流部（南）側約7mを鉄道用、下流部（北）側約8mを道路用として建設されており、橋梁底部の構造が南北で異なっています。昭和39年には完全舗装化され、道路専用道路となりました。

この付近には、墨俣の渡船場がありましたが、車の往来が発達するにつれ、渡船場は姿を消しました。長良大橋は、舟から車への歴史の転換期に建設された橋で、土木学会選奨「土木遺産」として登録されています。

# 14. 墨俣一夜城と<sup>さい</sup>犀川



【撮影日時】平成24年10月19日

【撮影場所】墨俣一夜城

(岐阜県大垣市墨俣町)

大垣市墨俣町にある墨俣一夜城は太閤秀吉が出世のきっかけとなった城であり、毎年10月の第4日曜日に「秀吉出世まつり」が開催されています。  
また、3月～4月には墨俣の三大祭りである「墨俣さくら祭り」が開催され、この上流に開園した「さい川さくら公園」も大勢の人々で賑わいを見せています。



# 15. ぎふ清流国体カヌー会場（揖斐川）



【撮影日時】 平成24年10月2日

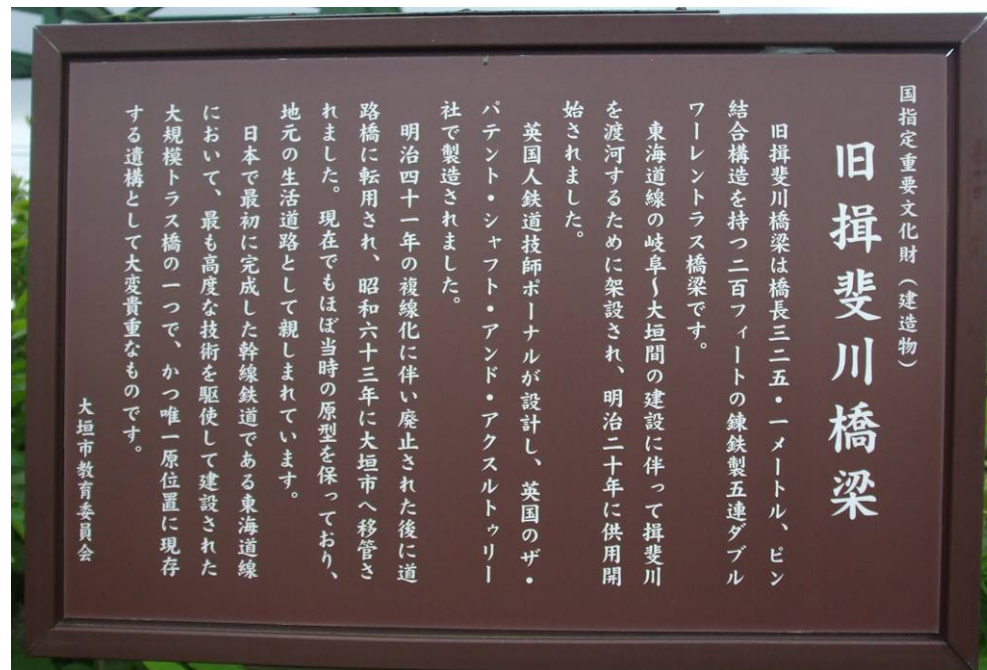
【撮影場所】 岐阜県揖斐川郡揖斐川町北方

第67回国民体育大会（ぎふ清流国体）におけるカヌー競技会場となった場所であり、揖斐の山々と赤い川口橋が見える撮影スポットとして多くの人々に利用されています。

# 16. 国指定重要文化財 旧揖斐川橋梁



橋(手前)：JR揖斐川橋  
橋(奥)：旧揖斐川橋



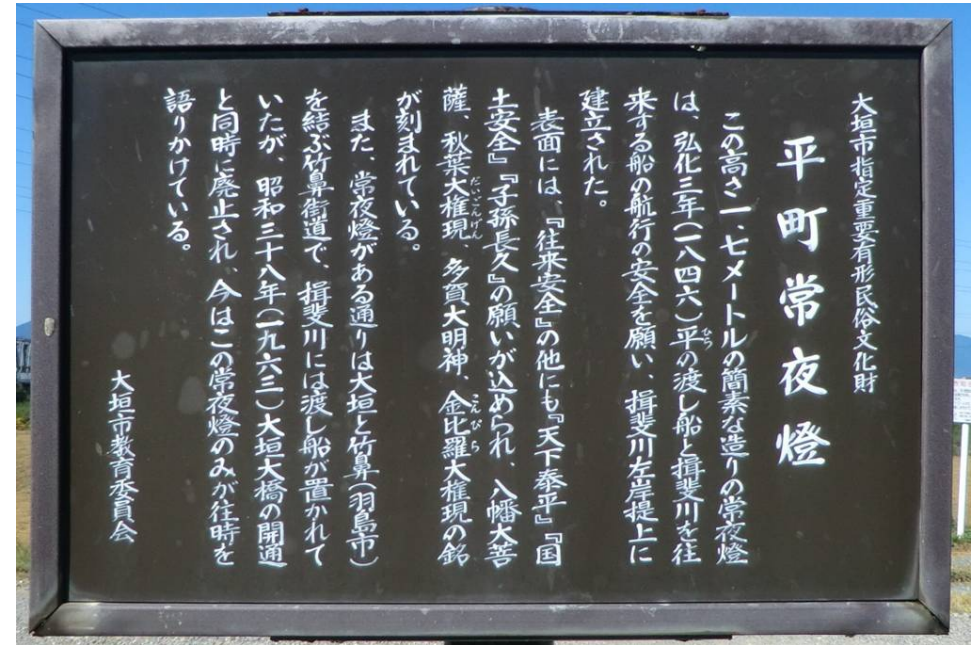
【撮影日時】平成24年6月20日  
【撮影場所】岐阜県大垣市新開町

旧揖斐川橋梁は、東海道線岐阜～大垣間の建設に伴って英国人技師により設計、当時の最も高度な技術を駆使して建設され、明治20年（1887年）に供用開始されました。明治41年（1908年）に鉄道橋としての役目は終えましたが、現在でも生活道（歩行者・自転車専用道路）として利用されています。

元の位置に現存する遺構として貴重な橋梁であり、平成20年（2008年）に国の重要文化財に指定されました。

橋上からは、平行して新しく架け替えられたJR東海道線の橋梁と伊吹山、金華山などを眺めることができます。

# 17. 揖斐川の渡しは今昔



【撮影日時】 平成24年10月19日

【撮影場所】 岐阜県大垣市平町

石碑は、1846年に渡し船の乗船跡に建てられた常夜灯です。

渡し船は、この上流に道路橋が架設されたため、1963年に廃止となりました。写真後ろに見える橋は、石碑の下流をとおり新幹線橋梁で、交通の移り変わりを感じることができます。

# 18. 杭瀬川の桜並木



【撮影日時】 平成23年4月11日

【撮影場所】 岐阜県大垣市若森町

杭瀬川堤の約3 Kmに渡る桜並木は、昭和12年頃に植えられ『忠魂の桜』として知られています。春に訪れる人々を和ませるこの桜は、秋には紅葉し、一年の間に人々を何度も魅了させます。